

東京都新宿区 新宿せいが子ども園

第12回 成長展

今年度のテーマ「東京」

第105号 2019年3月11日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていくよう
活動していきます。

株式会社カグヤ 奥山卓矢



第12回「成長展」

新宿せいが子ども園のご紹介

新宿せいが子ども園は、社会福祉法人省我会が運営する施設です。東京都新宿区にある新宿せいが子ども園は、平成19年4月に開園し、定員177名の園です。

地下1階地上4階のスタイリッシュな都市型の園で、0歳から6歳までの発達の連続性を保障し、子どもの主体性と社会性を育む保育環境が用意されています。

今回の成長展に、全国の園の先生方約140名が見学に来られ、過去最高記録に達したことでした。

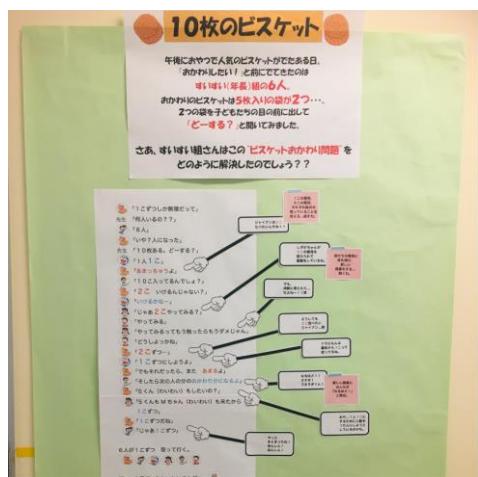
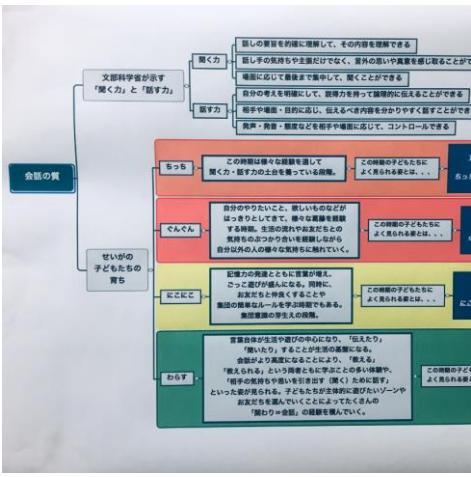
『成長展』とは

どうして成長展と呼んでいるかというと、1年の間に定期的に描いた人物画などを段階的に展示したり、健康面での成長を具体的な事物で表したり、人間関係における発達をお友だち・グループの活動事例で示したりと、多角的に子どもの成長を可視化したものであるからです。

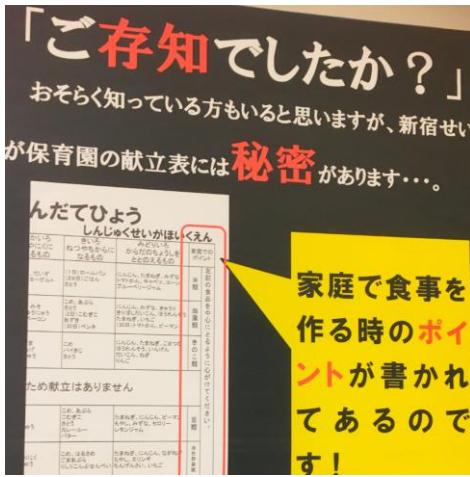
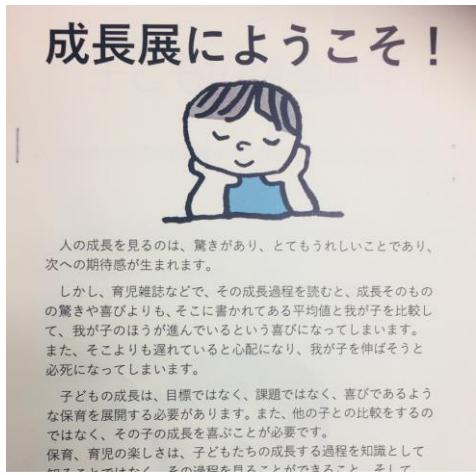
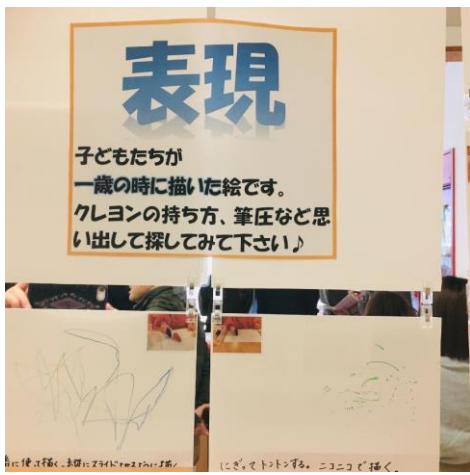
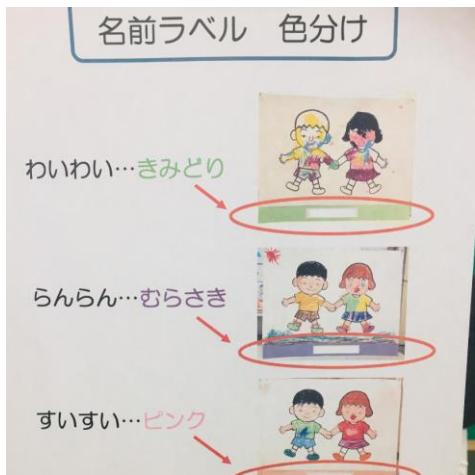
成長展は、保護者に子どもの成長を多角的に見てもらうのが第一の目的ですが、保護者に対しては、子どもの何が育っているのか、子どもの成長のために保護者がどのような環境を作り、子どもの発達を導いていったか、子どもの成長をどうとらえていくのかという「子どもの見方」・「保育の考え方」を理解してもらう機会としています。

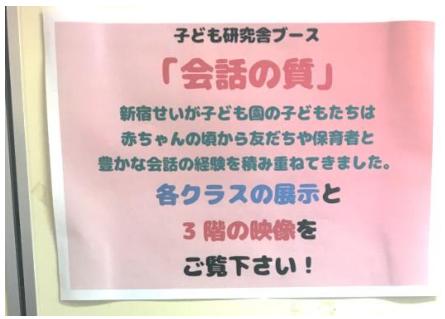
『見守る保育③保育における「行事」 藤森平司著』(世界文化社)
p50より引用

社会福祉法人省我会 新宿せいが子ども園『成長展』



社会福祉法人省我会 新宿せいが子ども園『成長展』





『成長展』の見学を終えて思うこと

事前に今回の見学者は100名を超えると聞いていましたが、実際に園へ行っていると、140名を超えていたとお聞きし、驚きました。

見学の時間帯もこれまで午前中で、保護者の方の見学もある関係で保護者の方が見学される前の限られた時間帯で行っていたものを、新宿せいが子ども園の先生方がしっかり説明したいと園関係者の見学時間を午後にしよう！と変更をなさったそうです。

そして、今年もせいがチャンネルが放映されました。毎年テーマを設け、子どもたちの成長の様子を動画にまとめられている内容ですが、今年は「会話の質」をテーマに動画が編集されていました。

「聞く力」「話す力」を年齢ごとにどう成長しているかを見ると、成長展ながらに子どもたちがどう成長していくかを観ることが出来ました。

成長展1週間前、動画を編集されている安藤先生を見かけましたが、追い込みをかけるように作業をされていました。

子どもたちの発達に合わせて環境を作られているように、見学者の方にも学びやすい環境を作られているのだと感じ、先生方の働きかけに感動しました。

次回は、新宿せいが子ども園の西村先生に「成長展」の準備の裏側をインタビュー形式でお聞きしたいと考えています。

(報告者：株式会社カグヤ 奥山卓矢)



〒161-0023

東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビルディング2号館10階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢

ミマモルジュメールマガジン



メールマガジンのご登録は、
QRコードからお願いします。